上長与地区コミュニティ
まちづくり計画書

長崎県長与町

上長与地区コミュニティ運営協議会

はじめに

上長与地区コミュニティは、10 の自治会をはじめ各種団体のご協力のもと、地域の活性化を図り、快適な生活が実現できるまちづくりをめざし活動を続けてきました。

これからのまちづくりは、住民と行政が「自助、共助、公助」の役割分担において、まちづくりを進める必要があります。

このたび、当コミュニティ運営協議会の推進委員を主たる参加者として「上長与地区コミュニティまちづくり計画」をつくりました。

健康福祉部会、環境整備部会、青少年育成部会、地域づくり部会の４つのグループに分かれ、上長与地区の課題を見出だし、その解決に向けての取り組むべきことを考え、その実施時期、役割分担などを検討し、提案しました。

この住民自らが策定した、まちづくり計画を活用して、さらに住みよい地域づくりを進めて行きましょう。

平成 26 年３月
上長与地区コミュニティ運営協議会
会長　　前田　純弘

コミュニティまちづくり計画について

現代社会においては、地域を取り巻く環境や住民のニーズ・価値観が多様化かつ複雑になる一方で、人と人とのふれあいや近所づきあいなどは年々希薄になりつつあります。さらに、多発する災害や環境問題、少子高齢化、子どもたちの健全な育成などといったさまざまな地域の課題に対応していくために、地域住民みんなによる、地域のための「まちづくり」を進めていくことが必要です。

そこで、地域の「まちづくり」活動を維持継続して進めていくためにも、住民みずからが「まちづくり計画」を策定し、それをもとに協力しあって解決に向けた活動に取り組んでいくことが大切で、その中核組織として地区コミュニティの重要性がますます高くなってきています。

今回、地域における長所・短所の洗い出しからその解決に向けての取り組み、その実施時期、役割分担などをまとめ、これからの地域全体の羅針盤として、「コミュニティまちづくり計画」を策定しています。

≪目　次≫

はじめに

1　上長与地区の現状と課題 1

2　上長与地区がめざす将来像 8

3　分野別の基本方針 9

4　主な取り組みと実施時期・役割分担 11

5　地区内の特に重要なプロジェクトの行動計画 18

6　計画の推進に向けて 19

7　資料 20

1　上長与地区の現状と課題

上長与地区の概況

■地理・地域

　長与町の東に位置し、本川内郷、平木場郷、三根郷及び吉無田郷の一部で構成されています。町の中心部を流れる長与川の上流にあたり、長与ニュータウンや緑ヶ丘など、人口が密集している地区から、本川内郷や平木場郷のように自然や田畑が多く残っている地区まで含んでいます。

■主な地域資源

交通	主なスポーツ施設
鉄道　ＪＲ九州長崎本線　本川内駅 バス　長崎バス 道路　県道 33 号 　　県道 45 号	上長与体育館 緑ヶ丘グラウンド 長与ダムグラウンド
	公園・名所・旧跡・寺社仏閣・観光地
産業・特産品	長与川源流（水源）　長与川 長与ダム　七葉迫の堤 琴ノ尾岳　岳の神様 洗切陣屋跡　戸隠神社 三根寺　西光寺 馬頭観音
みかん いちじく ブルーベリー 梨	
教育施設	
洗切小学校 上長与幼稚園 のぞみ保育園	まつり・イベント
	平木場の浮立　琴ノ尾太鼓 鬼火焚き　桜まつり 夏まつり　ホタル観賞会（木場） 長与ダムロードレース
主な公共施設	
上長与地区公民館 上長与児童館	

■地域内の主な取り組み

・ソフトバレーボール大会
・ヘルシーウォーキング大会
・長与ダムロードレース
・上長与地区球技大会
・上長与地区公民館まつり

■コミュニティ

名称	設立年月日	事務局
上長与地区コミュニティ運営協議会	平成 14 年 12 月 1 日	上長与地区公民館

上長与地区の現況と課題

■地域の結びつきが深く、自治会加入率も高い

平成 25 年３月末の上長与地区の人口は、7,401 人、世帯数は 2,752 世帯で、長与町全体に占める割合はそれぞれ 17.5%と 16.8%、また１世帯あたりの平均世帯人員は約 2.7 人となっています。

構成する自治会数は 10 自治会で、人口が最も多いのは緑ヶ丘自治会（1,707 人）、最も少ないのは大越自治会（201 人）と各自治会の規模の大きさの違いのさることながら、緑ヶ丘といった比較的新しい自治会から、本川内などの昔からの自治会、その中間といえるニュータウンと、成り立ちや家族構成、環境等も大きく異なり、コミュニティとして地域内の調和を図っていくことのむずかしさがあります。

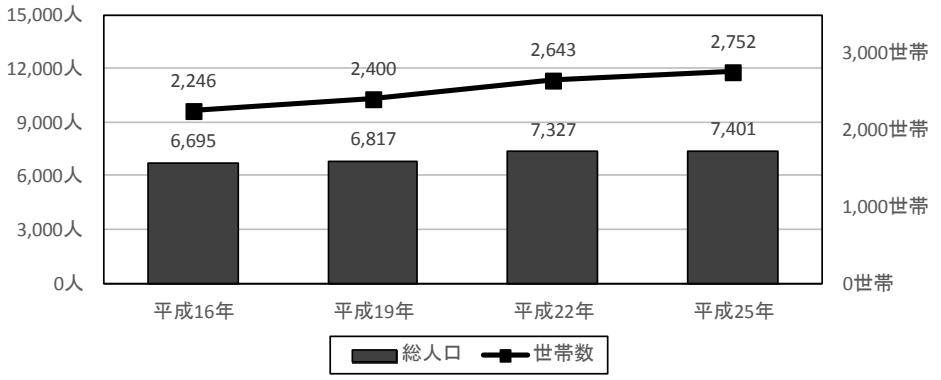
自治会加入率をみますと、上長与地区全体で、84.1%と長与町全体の 74.2%を大きく上回り、地区内の自治会活動に対する住民の理解があることを示しています。またアンケート調査における地区の結びつきについての問いに対しても「隣近所の付き合いが深く、助け合いがある」や「子ども、若者、高齢者など違う世代が挨拶をしたり、気軽に話ができる」といった回答が町全体より高く地域内のつながりが深いといえます。しかし、進行する少子高齢化に対する不安や近所付き合いの希薄化、自治会における役員の負担の大きさなどの問題も指摘されており、今後対策が求められています。

自治会別人口・世帯の状況

自治会名	男	女	計	世帯	高齢化率	15歳未満人口率	自治会加入世帯数	自治会加入率
長与町全体	**20,242**	**22,155**	**42,397**	**16,397**	**20.3%**	**15.7%**	**12,173**	**74.2%**
木場	138	152	290	83	21.4%	15.5%	71	85.5%
大越	109	92	201	71	30.3%	10.4%	54	76.1%
横平	134	144	278	117	33.8%	10.1%	66	56.4%
上平	181	219	400	145	29.8%	10.8%	114	78.6%
下平	353	375	728	266	23.4%	12.2%	196	73.7%
三根	278	336	614	255	29.6%	7.7%	176	69.0%
ニュータウン東	545	526	1,071	453	29.2%	12.8%	420	92.7%
ニュータウン中央	485	586	1,071	443	33.4%	11.9%	375	84.7%
ニュータウン西	484	557	1,041	443	36.3%	7.1%	389	87.8%
緑ヶ丘	849	858	1,707	476	3.6%	36.6%	454	95.4%
上長与地区合計	**3,556**	**3,845**	**7,401**	**2,752**	**24.3%**	**16.7%**	**2,315**	**84.1%**
			17.5%	**16.8%**				

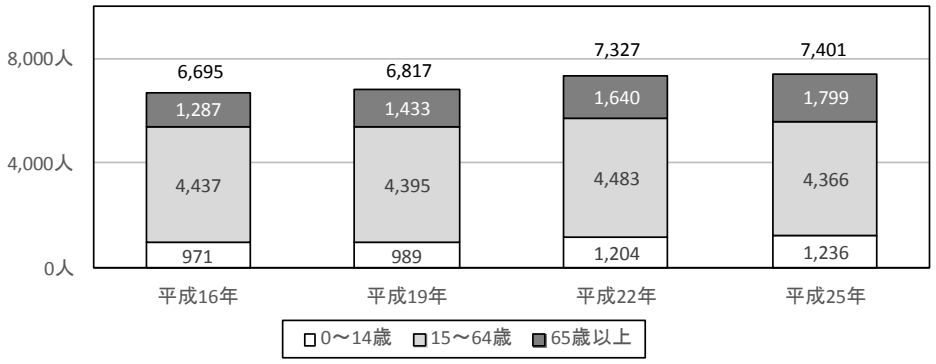
住民基本台帳：平成25年3月31日

人口・世帯数の推移



資料：住民基本台帳（各年３月末）

３区分別人口構成比の推移



資料：住民基本台帳（各年３月末）

■進む少子高齢化、若い力の活用が望まれる

上長与地区の高齢化率は平成 25 年３月末で 24.3%と、長与町全体の 20.3%より４ポイント高く、町内５つのコミュニティで最も高くなっています。地区内の４つの自治会が 30%を超えており、緑ヶ丘自治会を除き確実に少子高齢化が進んでいます。合わせてひとり暮らしや夫婦のみ世帯の高齢者も年々増加しており、今後、地域全体での見守りや生活支援等への取り組みのさらなる充実が望まれます。

また、地域の活性化のためには若い力の活用が不可欠です。地域に対し若い世代の関心が薄いという意見も出ていますが、さまざまな交流の機会を増やし、人と人が触れ合うことによって相互の理解を深めていくことが大切で、そのための拠点づくりなどは、これから取り組むべき重要な課題です。

■自然に恵まれた地区、しかし生活環境の向上が望まれる

上長与地区は、自然環境に恵まれており、静かでゆっくりとした生活が送れているとの意見が多く出されています。さらに地域で花や木を育てていこうという気持ちがあり、里山を守る農家の方の努力も続けられています。しかし、相対的に、地域が広く生活の利便性が悪いとの指摘もあります。アンケート調査でも、交通の便が悪い、商店が少なく買い物が不便だ、今はいいがもっと高齢者になった時が不安などの回答が多数あり、今後これらの生活基盤の改善を地域と行政の協働によって進め、より住みよい地域にしていくことが望まれています。

また、近年地震や異常気象による災害も増えています。前述の少子高齢化が進んだ地域もあり、近所づきあいが薄くなりつつあります。今後は地域として平素から防災や防犯に取り組み、お互いが助け合い支え合うことで、安心して暮らしていけるようにしていくことが課題となっています。

ゴミに関する問題もあります。分別が不十分であることやポイ捨てが多い、ペットのマナーなどが挙げられています。

■子どもの数が地区により減少している、コミュニティでの取り組みが必要

15 歳未満の人口率をみると、最も高い地区（緑ヶ丘自治会 36.6%）を除くと、他の９自治会はすべて町全体（15.7%）を下回り、地域の団体活動などに支障が出てきています。一方で、子ども会への参加協力やボランティアによる子どもの見守り、米やみかん作り体験など積極的に地域貢献の活動も行われています。これからは、コミュニティ内で地区を越えあらゆる世代との交流を促し、さまざまな活動を通じて子どもたちを健全に育て地域に活力を与えることが望まれます。

住民ワークショップやアンケート調査で多かったのは、通学路の歩道が狭く危険である、中学校のバスの時間が合わないなど子どもの通学に関する意見です。今後は安全性の確保や利便性の向上などが求められます。

また、文化・芸術面への取り組みを望む意見もあり、子どもたちの可能性を広げるために重要なテーマといえます。

ワークショップで出た主な意見

地域づくり部会

伸ばしていきたいところ（地域の長所）	解決していきたいところ（地域の課題）
・ゴミ出しとか、決まり事をきちんと守ろうと意識している人が多い。 ・他人にいろいろ詮索されることがない。 ・おせっかいな人が少ない。 ・この地区は、誰でも親しくあいさつが出来る。 ・自治会活動への参加が、情報を得る機会である。 ・自治会の行事などに参加、協力が良い。 ・いろんな役員とか引き受ける保護者が多い。 ・昔より地元の方が多く、近所や地区のつきあいが多い。 ・ご近所の助け合いがよくされている。	・古くからの地元の方の地域と、新興住宅地域とが合わさっているので、考え方をまとめにくい場合がある。 ・近所付き合いが薄い。 ・あいさつは返すが、自分の方から声をかけようとしない人がけっこういる。 ・コミュニティ、自治会活動への参加者が少ない。 ・高齢化が進行中。人の絆が薄くなった。 ・雑談できる場がない。 ・若い世代の人たちが少なく、地域における若い人の間の交流がみられない感じ。 ・若者が、元気がない。 ・もう少し若い世帯に住んで欲しい。

環境整備部会

伸ばしていきたいところ（地域の長所）	解決していきたいところ（地域の課題）
・自然が豊かで、皆で花や木を育てようと思う気持ちがある。 ・里山を守る農家の努力がうかがえる。 ・生活環境は良い方だと思う。 ・静かな生活環境がある。 ・マラソンコースになる道がある。 ・駅が近い。 ・買い物するのに、店が近い。ストア、市場、車で５分でいける。 ・ボランティアで子どもを見守って下さる。 ・比較的、犯行の少ない地域と思われる。 ・ゴミステーションがきれい。 ・資源ゴミは、ルールを守って出している。	・長与川が汚い。 ・長与川の清掃活動等、コミュニティでもやりたい。 ・農地の荒れた所が目立つ。 ・公園、商店が少ない。 ・ニュータウンは坂や階段が多い。 ・交通の便が悪く、買物や通院等の際、車がないと不便である。 ・町へ出る交通機関が少ない。 ・商店街が少ない。 ・道が狭く危険。 ・街灯が少ない。 ・ゴミの分別が悪くいつも残っている。 ・ポイ捨てが多い。 ・ペットのマナーの問題

健康福祉部会

伸ばしていきたいところ（地域の長所）	解決していきたいところ（地域の課題）
・二世帯同居が多い。 ・おじいさん、おばあさんが多い。 ・元気な人が多い。 ・上長与公民館の講座が充実している。 ・老人会は元気に活動している。	・もっと身近に病院があると安心。

青少年育成部会

伸ばしていきたいところ（地域の長所）	解決していきたいところ（地域の課題）
・小学校は、学年関係なく仲良し。 ・洗切小は人数が少ないので、先生の目が行き届いている。 ・小学生は、米づくりやみかん作りが体験できる。 ・子育ての内容が、多岐にわたっている中、母親たちはよくかんばっている。 ・子どもたちにとって、のびのびと過ごしていける環境と思われる。	・小学校の生徒が減っている。 ・子どもの人数が、地区により減少しており、団体活動が出来なくなってきている。 ・子どもがいつでも自由に遊ぶ広場が少ない。 ・通学路が危険。（線路がある） ・洗切小学校通学路、歩道が狭くて危ない。 ・通勤通学が不便。中学生はバスの時間が合わない。 ・塾、スポーツは盛んだが、心を耕す文化、芸術面の取り組みが少ない。

2　上長与地区がめざす将来像

上長与地区の将来像を以下に示します。この将来像の中心に「人情」と「笑顔 100%」とあります。この言葉の中には、思いやり、助け合いや楽しさ、元気などが含まれており、特に「笑顔 100%」実現には、上長与地区のすべての人が明るく健康であることも不可欠です。また、冒頭に、「みんなでめざそう！」と掲げ、地域住民全体のまとまりを願っています。副題に、目標実現のためには若い力が必要であるとの認識から、地域におけるさらなる若年層の参加を促し、その力を活用していきたい思いを込めています。

将来像

みんなでめざそう！「人情」と「笑顔 100%」の住みよい地域　上長与
～若い力が活かされ、思いやりのある心豊かな人集う地域づくり～

3　分野別の基本方針

将来像を達成するために、以下に示す４つの部会ごとに「目指す姿と基本方針」を掲げ実現に向かって行動します。

地域づくり部会	目指す姿
	花いっぱい、あいさつを交わし、みんなが集える地域づくり
基本方針	伝統芸能などさまざまな活動を通じて、人と人の交流を図っていきます。そのために、誰でも声を掛け合ってふれあえる場所づくりを目指します。さらに交流の中で次世代のための人材発掘やリーダー育成に努めます。 また、休耕地を利用し地域の花いっぱい運動を促進していきます。

環境整備部会	目指す姿
	めざせ！安心、安全、きれいな地域（まち）
基本方針	地域全体で防災に取り組みます。現在、防災訓練の実施やパトロール、危険箇所の点検などが行われていますが、これらの活動をもとに、自治会、コミュニティ、各団体や行政などが連携し、情報の共有を図り、災害に対し自己防衛できるような地域づくりを目指していきます。

健康福祉部会	目指す姿
	青年を中心に、老人や子どもが健康で元気なまち
基本方針	部会では、高齢者の健康で元気な生活のために、まず、コミュニティ内で散歩コースを整備し、散歩サークルをつくります。サークルに参加することで、高齢者の孤立化を防ぎ、仲間と楽しく健康増進につなげていきます。

青少年育成部会	目指す姿
	豊かな自然のびのびと、健康・笑顔・絆 100%
基本方針	現在、子どもたちを取り巻く状況は、決して良いところばかりとはいえません。コミュニティとして、地域の子どもたちすべてに安全で快適な環境をつくっていきたいと考えています。「電話 110 番の家」の拡充や、防犯の看板の設置、標語の公募などに取り組み安全性の確保に努めるとともに、利便性の向上を目指します。

4　主な取り組みと実施時期・役割分担

４つの部会別の基本方針に沿って、今後取り組むべき取り組みとその時期、役割分担を以下のように整理します。

〇施策時期について

短期	1～2 年で取り組む
中期	3～5 年で取り組む
長期	6～10 年で取り組む

〇役割分担について

地域	地区内で取り組むこと
協働	地区と行政が共同で取り組むこと
行政	行政が取り組むこと

〇体系のイメージ

	部会	目指す姿	取り組む分野
将来像 みんなでめざそう！「人情」と「笑顔　１００％」の住みよい地域　上長与 ～若い力が活かされ、思いやりのある心豊かな人集う地域づくり～	地域づくり部会	花いっぱい、あいさつを交わし、 みんなが集える地域づくり	人と人との交流
	環境整備部会	めざせ！安心、安全、 きれいな地域（まち）	防災
	健康福祉部会	青年を中心に、老人や子どもが 健康で元気なまち	高齢者の健康で元気な 生き方（活動）
	青少年育成部会	豊かな自然のびのびと、 健康・笑顔・絆 100%	子どもの安全

地域づくり部会

目指す姿　**花いっぱい、あいさつを交わし、みんなが集える地域づくり**

現在、地区で取り組んでいること

・新春交流会

今後、取り組むこと

施策	実施時期			役割分担		
	短期 1−2 年	中期 3−5 年	長期 6-10 年	地域	協働	行政
人と人との交流						
■地域づくりのために、先進地を視察する	━━				○	
■各地域の伝統行事への、相互交流を図る	┅┅	━━		○		
■地域の人が出会える場の提供。例えば、花を咲かせて、それを鑑賞するために人が集まる	┅┅	━━		○		
■花づくりを指導してもらい、コミュニティとして休耕地を活用して、花いっぱい運動に取り組む	━━				○	
■道端に花壇を設置して、協力し合って管理する	┅┅	━━		○		
■農地の有効利用として、季節の草木を協同で植える	┅┅	━━		○		
■農業体験ができる農地の有効利用	┅┅	┅┅	━━		○	

今後、取り組むこと

施策	実施時期			役割分担		
	短期 1−2 年	中期 3−5 年	長期 6-10 年	地域	協働	行政
■土曜市、日曜市、朝市等を開き、生産者、消費者の交流を図る	┅	┅	━	○		
■地域の人的資源の発掘と活用を積極的に行う	━			○		
■出会える場を作って、顔見知りになり、知恵を借りたり、貸したり、お互い支え合えるようになりたい	┅	━		○		
■住民が気軽に声がかけられる集いの広場の設置	┅	━		○		
■交流を目的とした、見晴らしの良い展望台を設置する	┅	┅	━		○	
■自然を活かした交流の場をつくり、誰でも集える場所づくり	┅	━			○	
■いろんな集まりを通じて参加の呼びかけをする	━			○		
■コミュニティ内の構成組織（自治会、民生委員・児童委員、子ども会、消防団、学校関係[ＰＴＡ等]等）との活発な交流及び人材発掘	┅	━		○		

※網かけの施策は重要プロジェクト　　※破線は検討、準備期間

実線は実施期間

環境整備部会

目指す姿　**めざせ！安心、安全、きれいな地域（まち）**

現在、地区で取り組んでいること

- 防災訓練の実施
- 大雨、台風時のパトロール
- 危険個所の点検

今後、取り組むこと

施策	実施時期			役割分担		
	短期 1−2 年	中期 3−5 年	長期 6-10 年	地域	協働	行政
防災						
■防災無線の整備	━━					○
■防災訓練の実施	━━			○		
■各団体との連携	━━				○	
■避難場所の確認	━━				○	
■高齢者への声かけ。誘導の対処方法	━━			○		
■情報の把握と伝達（住民と行政）	━━				○	
■避難場所の安全確認	━━			○		
■地域住民へ避難経路の周知徹底	━━			○		

今後、取り組むこと

施策	実施時期			役割分担		
	短期 1−2 年	中期 3−5 年	長期 6-10 年	地域	協働	行政
■暗い所を安全な場所にするため、防犯灯を設置し、定期的に自治会で見回る	━				○	
■防災について、行政との話し合いの場を持つ	━				○	
■長与川をきれいにする	━				○	

※網かけの施策は重要プロジェクト　※破線は検討、準備期間
実線は実施期間

健康福祉部会

目指す姿　**青年を中心に、老人や子どもが健康で元気なまち**

現在、地区で取り組んでいること

・ヘルシーウォーキング大会

今後、取り組むこと

施策	実施時期			役割分担		
	短期 1−2 年	中期 3−5 年	長期 6−10 年	地域	協働	行政
高齢者の健康で元気な生き方（活動）						
□散歩コースを整備し散歩サークルを作る	┅┅	━━		○		
■まず過去のウォーキングから選ぶ（トイレの問題等）	━━			○		
■最初は少人数で発足し、順次仲間を増やしていく	━━			○		
■回数は発足時に決める	━━			○		
■担当者の人選、保険関係、救護等は発足時に決める	━━			○		
■何回か行う間に、気づいた事を話し合い実施していく	┅┅	━━		○		

※網かけの施策は重要プロジェクト　※破線は検討、準備期間

実線は実施期間

青少年育成部会

目指す姿　**豊かな自然のびのびと、健康・笑顔・絆 100%**

現在、地区で取り組んでいること

・110 番の家	・防犯パトロール	・交通当番
・見守り隊	・長与ダムロードレース大会	

今後、取り組むこと

施策	実施時期			役割分担		
	短期 1−2 年	中期 3−5 年	長期 6-10 年	地域	協働	行政
子どもの安全						
■公衆電話の設置	┅┅	┅┅	━━		○	
■電話を貸してくれる「電話 110 番の家」の拡充	━━			○		
■歩道の整備	┅┅	┅┅	━━			○
■防犯と交通安全の看板、標語の設置	┅┅	┅┅	━━	○		
■地域内で標語の公募などを行う	━━			○		
■公園の設置	┅┅	┅┅	━━			○
■学校の下校時刻に合ったバスの運行	━━				○	
■交通安全の看板をコミュニティで作り各所に設置する	━━			○		

※網かけの施策は重要プロジェクト　※破線は検討、準備期間
実線は実施期間

5　地区内の特に重要なプロジェクトの行動計画

前項の取り組むべき施策の中で、特に部会内で重要であると思う項目や優先順位が最も高いと思う取り組み案を１つ選び、具体的な取り組みを示します。

地域づくり部会重要プロジェクト「地域の人が出会える場の提供」

●活動内容

- 地域の人が出会える場を提供し、活発な交流と人材発掘を図る
- 休耕地等を活用して、地域の共同作業による花いっぱい運動に取り組む
- 地域で、花づくりと季節の花を鑑賞する活動に取り組む

環境整備部会重要プロジェクト「長与川をきれいにする」

●活動内容（対策）

- 長与川の現状を伝えていく
- 川にゴミを捨てないように啓発活動を徹底させる
- 道のゴミが雨で流されないようにする
- 上流からの点検、パトロールの実施
- 川の増水を防ぐため、貯水タンクを各家庭に普及させる
- 透水性舗装、透水性ブロックの普及促進

健康福祉部会重要プロジェクト「散歩コースを整備し散歩サークルを作る」

●活動内容

①散歩サークルの立ち上げの案内文を作成し、自治会を通じ募集する

②集まった人で討議し、詳細を決めていく（コース、日程、日時）

青少年育成部会重要プロジェクト「防犯と交通安全の看板、標語の設置」

●活動内容

- 設置ポイント調査
- 標語募集
- デザイン検討（長与町イメージキャラクター　「ミックン」を活用する）

6　計画の推進に向けて

以上のように、『みんなでめざそう！「人情」と「笑顔 100%」の住みよい地域　上長与』を実現し、上長与地区コミュニティをさらに発展させていく上で、取り組むべきことは多くあります。しかし、現状では一部の人に負担が偏ったり、活動する人が限られたりと、これではどうしても継続的な地域づくりは難しくなってきます。従って、今後は以下のように取り組んでいきます。

■今回策定した「上長与地区コミュニティまちづくり計画書」を、地域全体の計画とするために、全住民への周知に取り組み、理解を図ります。

■計画を推進していくためには、地域づくりのための仕組みづくりが必要です。コミュニティを中心に地域住民、自治会、行政、ＮＰＯなどが参加、参画、連携、協働することにより、計画の一層の充実を図っていきます。

■計画の推進にあたっては、何に取り組み、予算はどう配分するのかなどを、民主的に透明性をもって決定していきます。

■計画の推進にあたっては、人材の適材適所、地域内の人的資源、特に若い力や女性の力の掘り起しに努めます。

■計画は進捗状況を確認し、必要に応じて見直しを行っていくことが大切です。
見直しが必要になった際には、コミュニティ内で話し合う場を設け、行政を交えながら計画を推進していきます。

7　資料

■コミュニティまちづくり計画策定の経緯

開催日	内容
平成 24 年 12 月3日～12 月 25 日	コミュニティまちづくり計画アンケート調査の実施
平成 25 年　7 月 19 日	第１回　住民ワークショップ ・地区の長所と課題の整理
8 月 22 日	第２回　住民ワークショップ ・地区の将来像と部会の目指す姿の検討
10 月 16 日	第３回　住民ワークショップ ・取り組み案及び役割分担と実施時期の検討（1）
11 月 20 日	第４回　住民ワークショップ ・取り組み案及び役割分担と実施時期の検討（2）
平成 26 年　1 月 23 日	第５回　住民ワークショップ ・重点プロジェクト及び計画書のまとめ

上長与地区コミュニティまちづくり計画書

平成 26 年 3 月発行

長崎県長与町

上長与地区コミュニティ運営協議会